

能登香の里 栗井村 第一回「収穫祭」



平成二十六年年度の「村創りの会」総会で開催を決定し、約半年をかけて検討し、やっと開催にこぎ着けた収穫祭。雨天に対応するため、準備も晴雨両用で、一倍かかれました。この日まで共に努力してきた志民に感謝です。
仲間の信頼と協力があり、行動さえ伴えば、何だって出来ます。汗を共有することで、達成感とより深い絆が生まれました。



あわくら太鼓で開会



地元の看板娘、市長と歓談
市長も市議も心からリラックス



友、遠方より来たる。



大人気、地元猫友会



能登香清流米

ビンゴゲーム也大盛り上がり。



秋・紅葉・サンマ
市長、議長、職員、
会長の接待に大満足。



小房大橋までの
車の列。駐車場が
課題。



◆今回の成果
美作市内外から、能登香の里の收容能力を上回る大勢の方に来て頂いた。美作市や議会からも多数の参加を頂いた。何が売れて、何が売れないかを掴むことが出来た。イベントで必要なスタッフの数と役割が確認できた。雨天時に対する対応能力も培われた。

◆次回までの課題
駐車場の確保と、駐車案内。(次回からは安協と。)
売れる作物の栽培と品質向上。
協力スタッフの確保。

加工食品の開発。シビエ料理の開発。
「紙すき工房」のリニューアル(早急)

他の地域や団体との協力、連携。
事前協議(準備会)の決定内容の徹底。
3時間の、物量と内容の改善。
(写真:この秋、最高の笑い)



自分たちの地域は、自分たちで守る。

栗井地区村創りの会

餅米の予約販売と、餅つきを検討

◎当面の課題

■休耕田の利用
今年度、耕作放棄地や不耕作地などで景観植物の栽培に取り組みました。来年度は、いよいよ換金作物に取り組みます。餅米の栽培等です。栗井地区で餅米の予約を取り固定価格での販売を計画中です。

■六次産業化
さらに、「餅つき」の委託を受ける計画を進めています。順調にいけば、「彩菜みまさか」等に定期的に出荷していきます。協働企画課との共同作業です。課題は事務経理を担う担当者です。

◎長期的課題

■「栗井地区村創りの会」を基盤に「栗井地区営農法人」を作る事を検討します。これは「美作地域集落営農リーダー」研修会」での提起を受けてのものですが、地域の「共益」を目的に、多数の少額出資者から拠出される蓄積・管理される「社会的資本」によって、持続的に運営される自治的組織です。

■農業・農村の最大の課題である①後継者不足②機械化貧乏③耕作放棄地・荒廃地④獣害問題をセットで解決できる最善の方法です。地域の合意で「公共的な組織」を作つてそこに農地を預け、より高度に農地を活用し、より低コストに農産物を生産・販売し、より多くの価値を生み出して「地域の所得」を増やし、地域(組合員)に分配する仕組みです。活動(事業)分野も、農業分野だけでなく安心して暮らし続けられる地域を作るために必要な生活・環境保全など多面的な事業を担います。もちろん組合員が一番恩恵を受けられるものです。

ポン菓子、焼き芋も
大盛況(収穫祭)



【編集後記】収穫祭の大成功を受けて、「栗井地区村創りの会」は、この冬からいよいよ次のステップに踏み出すべく様々な協議を始めていきます。一番の目的は、会の経営基盤の安定です。そして、会員への利益の還元です。今年度いろいろな事業を多くの志民とともに進め、活性化の糸口が見つかりました。次は、安定的で持続可能な状態を作る事です。ここからが会員の知恵の出し所だと思っています。研修・研鑽と地道な協議の積み重ねが不可欠です。でも考える事、創造することは本質的には楽しい事です。それも一人ではなくみんなで取り組めばなおさらです。栗井村の希望を作り出します。そして、若い世代に引き継ぐ取り組みを続けます。